

NYA 会報

Nagasaki Young Generation Association

発行▶ **NYA (社)長崎青年協会** / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階

TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375

会長 野島徹也 編集▶ 広報委員会 委員長 井手清治

スローガン
心意気

2001

10

10月号のテーマ「はし」 会長挨拶

会長 野島徹也



先日行われました、全体研修では、「どうなる長崎! 2005」と題し行われ、それぞれに未来への思いを胸にしたでしょう。そして消防署の方にも来ていただき応急手当講習も受けることができましたので、万が一の場合は人命救助に是非役立ててください。また同日行われました、ふうせんバレーボールへの参加もあわせてお疲れ様でした。そして、いよいよ10月、秋の大祭「長崎くんち」の季節となりました。長崎では、しゃぎりの音が聞こえると、風も木々も街中秋色に染まります。僕の好きな季節となりましたが、皆さんはいかがお過ごしですか。(社)長崎青年協会におきましては、後半戦のスタートです。今年も江戸町公園におきまして、6日、青少年育成事業、日蘭事業、児童福祉施設、身障者の子供たちを招いての、くんち広場前夜祭をかきわきに7日、8日、9日とくんち広場を開催し地域のために、全体事業として取り組みたいと思います。また10月は次年度の新しい会長を選ぶ大切な臨時総会が行われます。皆さんの総意を持って選出したいと思っておりますので全会員の出席を望みます。最後になりますが、先輩から教わった青年協会の心意気の一つ「馬鹿になれたら馬鹿でなし、馬鹿になれない馬鹿もいる」この言葉をよく噛み締めて皆さんにも実践してもらえれば協会活動もより楽しめると思います。

全体研修開催

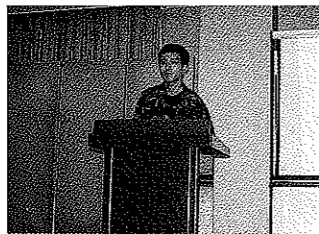
平成13年9月15日(土)~16日(日) / 式見ハイツ

今年の全体研修はのべ参加者37名で、初日は定刻の午後6時から「クリスタルホール」において、研修開発委員会・坂上委員長との開催挨拶の後、委員会の松尾君・堀田君・馬渡君が進行役になり「どうなる?長崎! 2005」と題して、5年後の長崎を考える為、活発な意見交換が行われました。

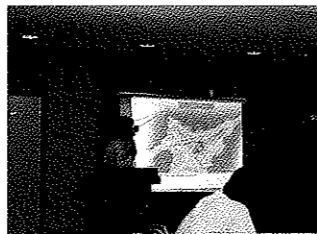
8月の例会時に会員に協力してもらった、アンケート結果をもとに21業種について、かかわりの深い会員の意見を聞き、討論が行われました。どの分野においても、非常に厳しい状況であるという認識のもと、視点を変えることにより、業績を好転していきけるのではないかと意見もあり、5年後の長崎をより良い町にする為にはいかに取り組んでいくかを、意見を参考にしながら考える事ができた、そんな、一時間半ではなかったかと思えます。

1日多くの意見が出された中、観光については、現在、来崎している国内のお客様の増員はもとより、アジア圏(特に中国)の方にいかにして来崎してもらうか、という意見があり、2008年に開催されるオリンピック後の中国国民に対する意識が高まり、多方面に渡り、今から準備をしていかないといけないのではと、考えさせられました。アジア圏に大きな橋を架ける事が、今後の長崎発展に、大きく関わってくるのではないのでしょうか?

長崎市において計画されている基盤整備にも触れ、平成15年度から順次完成される道路や、女神大橋等により、交通の大きな変化や、ナガサキ・アーバン・ルネッサンス2001構想によるシーサイドパーク建設等、市としての発展をしていく上で、産



坂上研修開発委員長挨拶



説明する堀田君



みんな熱心(全体風景)



多数参加の9月生まれ



夕食だ「カンバイ」



盛り上がる懇親会

業の発展も追隨していかなければいけないとの思いの中、最後に5年後の自分はどうか、5年後によりよい自分になる為、どう取り組んでいくか?という、アンケートを参加者全員が答え、参加者中、7名の意見を聞き、参考にしながら討論会を終えました。5年後の「長崎」と「自分」への架け橋となったようです。

定刻より15分遅れで始まった、9月のミニ例会は野島会長挨拶の後、役員報告・委員会報告・誕生者紹介と行われました。会長の挨拶の中で、会員に強く意識してもらいたいとの思いから、卒業された先輩の言葉を借り「馬鹿になれたら馬鹿でなし、馬鹿になれない馬鹿もいる」と言葉がありました。何事もただ行うのではなく、バカになれるほど、気持ちを込めて取り組んで行くんだという、意識を持って、これからの事業や委員会も頑張っていってほしいとの事でした。何事もバカになれる程、真剣に取り組めば、そこから得るものが必ずあるはずだからと、会員に言われた言葉が印象的でした。

午後8時を少し回ったころ、食事が「鶴の間」で行われ、午後9時からカラオケルームにおいて、二次懇親会が行われました。約7割が宿泊する事もあり、お酒をゆっくり飲みながら美声を披露する等、わきあいあいとした雰囲気の中、予定終了時刻の午後11時を大幅に過ぎ、午前零時頃迄笑い声が響いていました。

明けて、16日は午前9時から長崎北消防署の三名を講師に迎え、応急手当講習を約3時間受講しました。現在、救急車が到着するまでに(到着迄、平均7分)人口呼吸や心臓マッサージが行われていたのが、2割弱、更にその内、5%の方の命しか救われていない(心停止から10分を経過すると蘇生する確立は0%になる為)、という現状を踏まえ、救命の知識を持つことにより生存への可能性を高める事ができればという思いから今回の研修が行われました。

心臓蘇生法の手順としては――倒れている人の意識の確認→助けを呼び、口の中を調べる→(異物が有れば除去して)気道確保、呼吸確認→人工呼吸開始、脈拍を調べる→脈拍が有れば人工呼吸の継続。無ければ心臓マッサージの実施。――となります。

上記の流れを把握し、適切な人工呼吸と心臓マッサージを救急車の到着までの間、繰り返すことにより一人でも多くの人を救う可能性が広がります。その事が十二分に伝わり、参加者全員の真剣に取り組む姿と指示確認の為の大きな声が研修終了まで響き渡っていました。今回、研修で得た知識とレベルを維持していき、又、身近な人に教えることで、病気で倒れた人へ少しでも協力ができればと思います。「見守るよりも、行動する勇気が必要である」と気付かされた有意義な研修でした。

坂上委員長をはじめとする研修開発委員会の皆様、2日間お疲れ様でした。

(今回の受講者には「普通救命講習修了証」を同封しています。)

~全体研修を終えて~

研修開発委員長 坂上隆弘

去る9月15、16日、式見ハイツにて全体研修を行いました。わが研修開発委員会は、4月から準備を進めてきましたが、委員会メンバーの協会在籍年数が短く経験が浅かったため、何度も意見を戦わせながらやってきました。そして当日は、いきなりの確認ミスでパニックになり、あわてていると、メンバーがテキパキと動いてくれて委員長は誰だかわからないくらいでした。

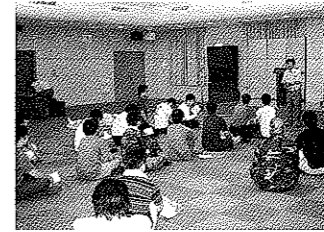
あっという間の2時間の研修と、その後の食事が済み、そして、懇親会では、男だらけのカラオケで変な盛り上がりで夜も更けていきました。

翌朝7時30分の起床時間の時は、誰一人起きてくる会員はいませんでした。

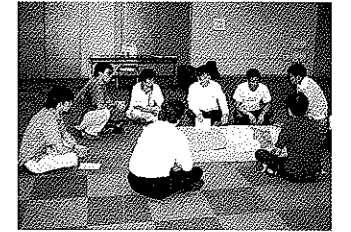
9時になり「応急手当」の研修ができるのかと心配していたら、会員が揃って真剣な態度で研修を行っていたのでとても嬉しく感じました。

いろいろと足りない部分もありましたが、委員会ではまずまずの成功だと思います。

迷惑を掛けた委員会のメンバーとご出席くださった皆様、ありがとうございました。



応急手当講習の始まり



応急手当講習(1班)



応急手当講習(2班)



人工呼吸中の片岡(義)君



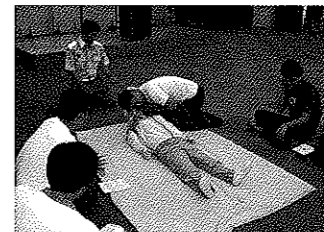
真剣に受講中



応急手当講習(3班)



「呼吸なし!」BY地島



「脈なし!」BY原



全体研修お疲れ様!

風に想いを…「ふうせんバレーボールふれあいINながさき」長崎大会開催

平成13年9月15日(土) / 長崎県立総合体育館

今年第9回大会となるふうせんバレーボール長崎大会が行われ、九州各県より36チームが県立総合体育館メインアリーナに集結し、熱戦を繰り広げた。青年協会からは大会前日の準備に野島会長、酒井君、末石君が参加し、大会当日には田川君、広瀬君、地島君、末石君が設営、誘導、審判、運営、清掃、撤去等をお手伝いした。

健全者と身障者の掛け橋となるこの風船バレーボールは単なる風船の打ち合いでなく、実際はサーブや、スパイクにおいてスーパープレー、スーパーテクニックを見せる選手もおり、どのコートも大いに盛り上がりを見せていた。ひとつひとつのプレーに汗を流し、涙を流し、勝利を目指す選手の姿は、普通のスポーツと同様である。

今回は、全体研修に集中するためか、それとも呼びかけが足りなかったのか、青年協会現役会員の参加が少なかったものの、それを上回るOBの皆さん、江湖事務局員、姫路転勤のため昨年度退会した室谷君も駆けつけ、「オール青年協会」としては多数のスタッフがボランティアとして参加し、その甲斐あって、大会はつつがなく



誘導 (広瀬君)



車両整理 (末石君・田川君)



開会式で整列



設営 (地島君)

進行し、何事もなく閉幕した。

お手伝い頂きましたスタッフの皆さん、大変御疲れ様でした。

末石順君の感想

去る9月15日、県立総合体育館にて第9回「風に想いを…ふうせんバレーボールふれあいINながさき」が行なわれた。九州各地の強豪36チームが集結し、午前に予選リーグを行ない16チームが午後の決勝トーナメントへ進出した。

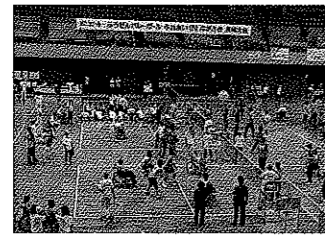
優勝はコアファイターズ(大分)、3連覇を目指したチームドラゴン(北九州)は2位、県勢のFIGHTING千綿が3位になった。

毎年思うことだが、上位進出チームは派手なプレーや、スタンドプレーが無く風船をつながるのがうまい!感動した!!

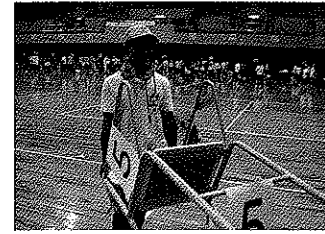
全体研修と日程が重なり、現会員の参加4名と寂しかった。来年は記念すべき第10回大会なのでもっと多くのメンバーで関われば…と思う。



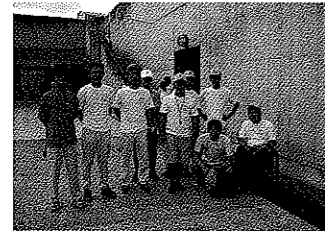
審判 (地島君)



試合風景



撤去 (広瀬君)



スタッフ集合

我ら! 青年兄弟

昭和入会三兄弟の巻 (昭和時代に入会した3人です。)

長男より次男へ: まだ時間が有るので、協会活動を楽しんで活躍してください。

次男より三男へ: あまり面識がないが、普通のサラリーマンに見えた。

三男より長男へ: しっかり者のサポーターです。

長男: 田川清浩 S62/4入会

次男: 福田増幸 S62/7入会

三男: 沖迫 司 S63/5入会

田川君: いよいよ卒業ですね。永い間お疲れ様でした。

福田君: あまり面識がないが、まじめそうに見えた。

沖迫君: 用心棒にしたい。

問1 入会してから一番力を入れた協会活動は?

問2 入会当時の思い出を一言

解1 おくんち広場でのおでんとうどんのだしの仕込み?

解2 無我夢中。恐い先輩達が沢山いて熱気を感じた。

解1 入会したばかりの頃に行なわれた昭和62年の「海のフェスティバル」面白そうに興味を持てる団体だと思った。

解2 ふうせんバレーボールの立ち上げで忙しかったことと、やり逃げたと言う充実感。

解2 飲み会(二次懇親会、忘年会等)に出席する度、あまりのはげけぶりに「すごい!」と思った。

委員会訪問記

交流委員会の巻 = 家族懇親会を控えて =

11月に行なわれる「家族懇親会」は、交流委員会にとって5月のソフトボール大会以来、実に半年ぶりの事業であり、山口(雄)委員長以下、委員会のメンバーも久しぶりの出番に燃えている。

今年は長崎半島の南端、野母崎町での「芋掘り」で、他会員家族とも親しくなる橋渡しになろう。(詳しくはインフォメ参照) 既婚者は大黒柱の威厳を見せよう。独身者も「関係ないや。」などと言わないで参加しよう。独身者も楽しめるような企画も盛り沢山のハズ(?)だから。

そして、そのひと月後の師走には忘年懇親会も控えているが、今回、意識は家族懇親会一本に集中していた。

井原崇通副委員長による家族懇親会の紹介

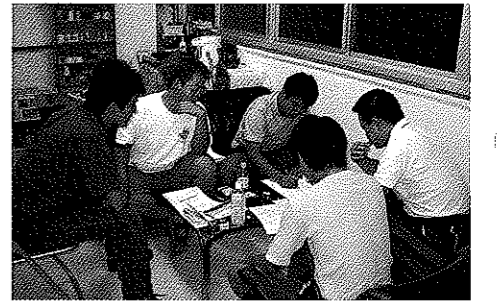
今年の家族懇親会は、私のたつての希望でありました農業体験を取り入れる事となりました。と言っても芋掘りなのですが、秋の1日、家族揃って芋を掘り、そして食べて、家族の原点に戻って楽しんで頂ければ、と考えております。

土の感触、収穫の喜び、家族の笑顔…。独身の私もありますので、寂しい会員の皆様も是非参加してちょーだい!!

宮崎健太副委員長による委員会の紹介

私たちの「交流委員会」はその名の如く、山口雄一郎委員長を中心に常に委員会内で交流を行なっています。

会員の家族間で交流を持つ事を目的とする来月の「家族懇親会」、そして、OBを含めた会員同志で交流を図る、今年最多の参加者が見込める年末の大事業「忘年懇親会」に備え、今後も今迄以上に委員会内で交流を図り、素晴らしい「懇親会」を企画、演出できるように頑張ります。



委員会風景

行政書士って何?

私たちになじみが薄い「行政書士」について、酒井真君に説明して頂いた。

「皆さんが契約をしたり、事業を始めたりするとき、役所の許認可が必要なケースが数多くあり、その手続きは、難解な用語・細かい規制・提出する書類の多さにより、普通の人には非常にとっつきにくく、面倒なものです。行政書士は、役所に提出する数千種にも及ぶ許認可申請・届出書類、契約書のような権利義務に関する書類、議事録のような事実証明に関する書類を作成・提出し、その相談を受ける仕事です(但し、弁護士や司法書士といった、他の士業の業務範囲に関するもの作成等は出来ませんのでご注意ください)。いわば、面倒な役所の手続きや、書類作成のサポーターであり、アドバイザーです。何かお困り事があれば、お気軽にご相談を!」

新入会員紹介

三谷勝大君 S47年4月30日
勤務先: 三谷製麺所
趣味: 旅行、ドライブ
配属: 地域社会委員会
自己PR: 好奇心いっぱいの人間です。

前田勲君 S48年8月13日
(有)レインボウフロッグ 料理
地域社会委員会
大きなお腹に希望と夢が詰まっています。

祝! ご結婚!

中村秀平君(広報委員会) お相手 智子さん
入籍日 平成13年8月8日
中村君の喜びのコメント
8月8日に入籍することができました。意外やなあ!との声もありましたが、そんな声にもメゲずに、幸せな生活を送っています。青年協会の諸先輩方に負けないよう、暖かい家庭を作ります。
(結婚式前ではありますが、「入籍」=「結婚」の認識のもとに今回の紹介とさせていただきます。)



編集後記

まるで、映画のワンシーンの様だった。9月11日、ニューヨークの世界貿易センタービルに2機の旅客機が激突した。国防総省(ペンタゴン)にも、1機の旅客機が、激突した。死傷者、1万人以上の大惨事だ。日本の米軍基地への同時テロの計画があったとの報道に驚き、テロの恐ろしさを、身近に感じた。
平和な国、日本、世界がグローバル化するなかで、どこで、この様な大惨事が起こるのか? 未来の子供達に、私達は平和の橋を架ける事ができるのか? 考えさせられる今日このごろである。